

例年より暖かい秋が過ぎ、寒い冬がやってきます。インフルエンザの異例の流行があり、感染症に気が抜けない季節です。園生活は集団生活なので、それぞれのご家庭での体調管理などの配慮が大切になります。体調が心配な時は無理をせず、身体を休めるようにしましょう。

感染性胃腸炎が流行する時期です！

ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルスが原因で、吐き気や嘔吐、下痢、腹痛などの症状が見られ、発熱する場合もあります。

下痢や嘔吐がある場合は早めに病院で診てもらい、脱水症状にならないよう、こまめな水分補給を心がけましょう。また、吐物や便にはウイルスが含まれているので適切な処理をし、片付け後は、手洗い・うがいをしっかりと行ってください。

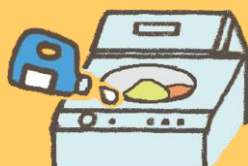


汚れた衣服は…

85℃の熱湯に1分以上浸けるか、塩素系漂白剤を薄めた物で消毒します。



消毒ができれば洗濯機に入れても大丈夫です。



汚れた場所もしっかりと消毒を行いましょう。



※感染対策として、園で嘔吐があった際は、汚れた衣類は洗わずに、二重にした袋に入れてお返しします。ご理解、ご協力をお願いいたします。

嘔吐下痢症

嘔吐下痢症（おうとげりしょう）は、突然吐き出したり、激しい下痢を1日に何度も繰り返したりします。

特に乳幼児がかかりやすく、脱水症状からひきつけを起こすなど、重症化することがあります。激しくぐずる、一日中ぐったりと寝ている、唇や口の中が乾いている、おしっこの量が減っているなどの症状が見られたら、すぐ医師にかかりましょう。

タオルやハンカチなどの共有を避け、手洗い・うがいをこまめに行うことが感染予防につながります。



かぜからくる急性中耳炎に注意

かぜをひいた後、気をつけたいのが「急性中耳炎」。鼻水が耳管（鼻と耳をつなぐ管）を通して耳に流れ込み、炎症を起こします。子どもは耳管が短くて太いため、急性中耳炎になりやすいのです。

高熱

症状

激しい耳の痛み

一時的な難聴、閉塞感

予防

- 鼻水はこまめにとる
- はなは強くかまない。片方ずつ、やさしくかむ



繰り返しやすく、滲出性中耳炎に移行しやすいので、きちんと治すことが大切